

# Express5800/320Mc-R ユーザーズガイド正誤表

856-123680-001- C

2007年3月 第3版

説明書名 : Express5800/320Mc-R ユーザーズガイド (856-123678-001-A) 初版

【区分】A:追加 C:訂正 D:削除 E:その他

## ■ 2 知っておきたいこと

Page	位置	区分	誤	正
2-2	拡張性	C	最大 3GB の大容量メモリ	最大 6GB の大容量メモリ
2-4	●自動ミラーリング	C	自動ミラーリング Express5800/ft サーバは、データがカレントデータとして自動的に維持され ます (VERITAS Volume Manager で設定 する必要があります)。	自動ミラーリング Express5800/ft サーバは、データがカレントデー タとして自動的に維持され ます
2-5	チェック	C	オペレーティングシステム用パーティション は、工場出荷時はミラーリング(ソフトミラ ー)完了済みですが、 EXPRESSBUILDER セットアップ完了 時点ではミラーリングされていません。 別途 VERITAS Volume Manager にて ミラーリングを実施してください。	オペレーティングシステム用パーティションは、工場 出荷時はミラーリング(ソフトミラー)完了済みです が、EXPRESSBUILDER セットアップ完了時点 ではミラーリングされていません。 別途ミラーリングを実施してください。
2-17	ページ全体	C		別紙1と置き換え
2-18	ページ全体	C		別紙2と置き換え
2-19	ページ全体	C		別紙3と置き換え

## ■ 4 システムのコンフィグレーション

Page	位置	区分	誤	正
4-15	表 Option ROM Scan Monitoring	C	[ Disabled] Enabled	Disabled [Enabled]
4-35	SCSI Disk Utility の重要に追加	A		・Low-level Format を行う際は、BIOS セットア ップユーティリティの[Advanced]→[Monitoring Configuration]→[Option ROM Scan Monitoring]を「Disabled」にしてください。設定方 法の詳細については、5章の「システム BIOS」を 参照してください。

## ■ 5 ユーティリティのインストールと操作

Page	位置	区分	誤	正
5-52	重要:	C	重要 ミラーディスク画面では、ミラーを構成する2台のハードディスクの組み合わせを1つのミラーとして表示します。そのため、ハードディスク内に複数のボリュームを作成している場合やスパンボリュームのように複数のハードディスクにまたがるボリュームを作成している場合などは注意が必要です。	重要 ミラーディスク画面では、ミラーを構成する2台のハードディスクの組み合わせを1つのミラーとして表示します。そのため、ハードディスク内に複数のボリュームを作成している場合などは注意が必要です。
5-53	ページ全体	D		(削除)
5-84	ページ全体 (全5ヶ所)	C	PCI モジュール/拡張 PCI モジュール	PCI モジュール

## ■ 7 故障かな?と思ったときは

Page	位置	区分	誤	正
7-33	トラブルシューティング	A		<p>? システムイベントログにネットワーク関連のログが記録される。</p> <p>→Windows でシステム起動時、二重化設定時に下記のイベントログが登録される場合がありますが、LAN ドライバの動作には問題ありません。</p> <p>イベント ID: 11            ソース : iANSMiniport            種類 : 警告            説明 : Adapter link down: Intel(R) Stratus emb-82544GC Copper Gigabit Adapter</p> <p>イベント ID: 11            ソース : iANSMiniport            種類 : 警告            説明 : Adapter link down: Intel(R) Stratus emb-82544GC Copper Gigabit Adapter #2</p> <p>イベント ID: 13            ソース : iANSMiniport            種類 : 警告            説明 : Secondary Adapter is deactivated from the Team: Stratus emb-82544GC Copper Gigabit Adapter #2</p> <p>イベント ID: 16            ソース : iANSMiniport            種類 : エラー            説明 : Team #0: The last adapter has lost link.            Network connection has been lost.</p>

<p>7-36</p>	<p>ネットワーク上で認識されない</p>	<p>C</p>	<p>□転送速度の設定を間違えていませんか？          → Express5800/ftサーバに標準で装備されている内蔵のLANコントローラは、転送速度が1000Mbps、100Mbps、または10Mbpsのいずれかのネットワークでも使用することができます。この転送速度の切り替えや設定はOS上から行えますが、「Auto Detect」という機能は使用せず、接続しているHubと同じ転送速度で固定に設定してください。また、接続しているHubとデュプレックスモードが同じであることを確認してください。</p> <p>転送速度を固定にするにはPROSet IIにて設定します。          左側のツリーにて変更するアダプタを選択し、100Baseアダプタの場合は [Advanced] タブをクリックし、[Link Speed &amp; Duplex]にて設定を行います。          1000Base-T アダプタの場合は [Link Config] タブをクリックします。 [Auto Negotiation] に「Enable」を選択し、 [Negotiable Speed and Duplexes] で転送速度を設定します(使用する転送速度のみチェックを行う)。</p>	<p>□転送速度の設定を間違えていませんか？          → Express5800/ftサーバに標準で装備されている内蔵のLANコントローラは、転送速度が1000Mbps、100Mbps、または10Mbpsのいずれかのネットワークで使用することができます。</p> <p>転送速度はPROSet IIにて設定します。          左側のツリーにて変更するアダプタを選択し、100Baseアダプタの場合は [Advanced] タブをクリックし、[Link Speed &amp; Duplex]にて設定を行います。          1000Base-Tアダプタの場合は [Link Config] タブをクリックします。 [Auto Negotiation] に「Enable」を選択し、 [Negotiable Speed and Duplexes] で転送速度を設定します(使用する転送速度のみチェックを行う)。</p> <p>Hub側の速度設定は、100Baseアダプタと接続する場合は固定速度設定、1000Base-Tアダプタと接続する場合は、オートネゴシエーションに設定してください。</p>
<p>7-39</p>	<p>トラブルシューティング</p>	<p>A</p>		<p>? アプリケーションイベントログに EvntAgnt のログが記録される          → このイベントはシステムに対する影響はなく (SNMP サービスに対する影響もありません)、対処をおこなっていただくなくても問題はありませぬ。</p> <p>「ソース : EvntAgnt          ID : 1003          説明 : TraceFileName パラメータがレジストリにありません          使用した既定のトレースファイルは です。」</p> <p>「ソース : EvntAgnt          ID : 1015          説明 : TraceLevel パラメータがレジストリにありません。          使用した既定のトレースレベルは 32 です。」</p>

## ■ 8 システムのアップグレード

Page	位置	区分	誤	正
8-17	DIMM ヒント	C	● メモリは最大 3GB (512MB × 6 枚)まで増設できます。	● メモリは最大 6GB (1GB × 6 枚)まで増設 できます。
8-50	オプション PCI ボー ドのセットアップ 重要:	A		<p>● オプション PCI ボード接続時の注意点            拡張 PCI モジュールの PCI バスは、最大 66MHz            で動作しますが、33MHz で動作するオプション            PCI ボードを拡張 PCI モジュールに実装した場            合、拡張 PCI モジュールに実装されているオプシ            ョン PCI ボードは全て 33MHz で動作します。            拡張 PCI モジュールの PCI バスを 66MHz で動            作させたい場合、拡張 PCI モジュールには            66MHz で動作するオプション PCI ボードのみ実            装してください。また、同時に 33MHz で動作する            オプション PCI ボードを接続したいとき、33MHz            で動作するオプション PCI ボードは PCI モジュ            ールに実装してください。</p> <p>オプション PCI ボードの動作周波数            N8803-031(Fiber Channel コントローラ)            66MHz            N8804-001P1(100BASE-TX 増設ボードセッ            ト)            33MHz            N8104-84(1000BASE-SX 増設ボード)            66MHz            N8104-103(1000BASE-T 増設ボード)            66MHz            N8890-005(Disk 増設ユニット)添付のコントロ            ーラボード            33MHz</p>

## ■付録 A 仕様

Page	位置	区分	誤	正
付録 -1	消費電力	C	1275VA	<b>1125VA</b>

別紙1:P2-17

## PCI モジュールステータスランプ 1/2 (◀<sup>1</sup>/▶<sup>2</sup>) DISK ACCESS ランプ (◻)

PCI モジュールには、モジュールの状態を知らせるランプが 3 種類あります。

3 つのランプの表示の組合せで PCI モジュールおよびハードディスクドライブ(内蔵のみ)の状態を示します。

各ランプの位置については 2-6 ページを参照してください。

(1) 両 PCI モジュールのステータスランプ1(▶<sup>1</sup>)が消灯している時。

PCI#1		PCI#2		意味	対処方法
▶ <sup>2</sup>	◻	▶ <sup>2</sup>	◻		
緑	緑/消灯 ※	緑	緑/消灯 ※	両方の PCI モジュールが Duplex の状態で正常に動作しています。	—
緑	消灯	アンバー	アンバー	PCI#1 に内蔵されているハードディスクに何らかの異常が生じています。	ハードディスクのミラー再構築を行ってください。(3 章 Windows の操作と設定「手動による冗長構成の復旧」を参照) それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡してください。
アンバー	アンバー	緑	消灯	PCI#2 に内蔵されているハードディスクに何らかの異常が生じています。	ハードディスクのミラー再構築を行ってください。(3 章 Windows の操作と設定「手動による冗長構成の復旧」を参照) それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡してください。
消灯	消灯	アンバー	アンバー	PCI モジュール#1 に AC 電源が供給されていない。 PCI#2 が simplex モードで動作中。	電源コードの接続状態を確認してください。 ブレーカや UPS の状態を確認してください。 PCI モジュール#1 の電源ユニットの接続状態を確認してください。 PCI モジュール#1 を取り付け直してください。 それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
アンバー	アンバー	消灯	消灯	PCI モジュール#2 に AC 電源が供給されていない。 PCI#1 が simplex モードで動作中。	電源コードの接続状態を確認してください。 ブレーカや UPS の状態を確認してください。 PCI モジュール#2 の電源ユニットの接続状態を確認してください。 PCI モジュール#2 を取り付け直してください。 それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
緑	緑/消灯 ※	アンバー	緑/消灯 ※	PCI#1 側に接続または実装されている: i) オプション PCI ボード又は PCI モジュールに何らかの故障が発生している。 ii) オプション PCI ボードに接続されている装置に異常がある(ケーブル抜けを含む)。 iii) LAN ケーブルが抜けている	オプション PCI ボードが正しく取り付けられているか、または PCI モジュールやオプション PCI ボードのコネクタにケーブルが正しく接続されているか、確認してください。 PCI モジュール#1 を取り付けなおしてください。 それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
アンバー	緑/消灯 ※	緑	緑/消灯 ※	PCI#2 側に接続または実装されている: i) オプション PCI ボード又は PCI モジュールに何らかの故障が発生している。 ii) オプション PCI ボードに接続されている装置に異常がある(ケーブル抜けを含む)。 iii) LAN ケーブルが抜けている	オプション PCI ボードが正しく取り付けられているか、または PCI モジュールやオプション PCI ボードのコネクタにケーブルが正しく接続されているか、確認してください。 PCI モジュール#2 を取り付けなおしてください。 それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
アンバー	アンバー	アンバー	アンバー	DISK のミラーリング中。	ミラーリング終了までお待ちください。

※DISK ACCESS ランプは、ハードディスクドライブへアクセスがあったときに緑点灯します。

### ヒント

ステータスランプ1消灯時のステータスランプ2の色は以下を示しています。モジュールの取り外しを行う場合は特にご注意ください。

— 緑 : そのモジュールを取り外しても、システムの動作に影響がない。

— アンバー : そのモジュールを取り外したら、システムダウンする。

(2) 両 PCI モジュールのステータスランプ1(◀<sup>1</sup>)が赤色に点灯している時。

PCI#1		PCI#2		意味	対処方法
◀ <sup>2</sup>	☐	◀ <sup>2</sup>	☐		
消灯	消灯	消灯	消灯	スタンバイ状態。(電源コードが接続され AC 電源が供給されているが、装置の電源が ON になっていない)。	装置の電源 ON 後から OS が起動するまでは、そのままお待ちください。OS が起動し、二重化が完了すると正常な表示に戻ります。表示が戻らない場合は、PCI モジュールを取り付け直してください。それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
緑	消灯	消灯	消灯	PCI モジュール#1 が診断 (Diag) を実行している。	OS が起動するまでは、そのままお待ちください。OS が起動し、二重化が完了すると正常な表示に戻ります。
消灯	消灯	緑	消灯	PCI モジュール#2 が診断 (Diag) を実行している。	

(3) PCI モジュール#1 のみステータスランプ1(◀<sup>1</sup>)が赤色に点灯している時。

PCI#1		PCI#2		意味	対処方法
◀ <sup>2</sup>	☐	◀ <sup>2</sup>	☐		
消灯	消灯	アンバー	アンバー	PCI#1 がスタンバイ状態。(PCI#1 の電源が ON になっていない)。 PCI#2 が simplex モードで動作中。	PCI#1 を ft サーバユーティリティで起動して下さい(5-63 ページ参照)。 PCI モジュール#1 を取り付け直してください。 それでも PCI#1 が正常に起動しない場合は保守サービス会社に連絡してください。
緑	消灯	アンバー	アンバー	PCI モジュール#1 が診断 (Diag) を実行している。 PCI#2 が simplex モードで動作中。	PCI#1 が起動するまでお待ち下さい。 PCI#1 が起動し、二重化が完了すると正常な表示に戻ります。
消灯	消灯	消灯	消灯	PCI#1 のみスタンバイ状態。(電源コードが接続され AC 電源が供給されているが、装置の電源が ON になっていない)。 PCI#2 に AC 電源が供給されていない。	電源コードの接続状態を確認してください。 ブレーカや UPS の状態を確認してください。 電源ユニットの接続状態を確認してください。 PCI モジュール#2 を取り付け直してください。 それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
緑	消灯	消灯	消灯	PCI モジュール#1 が診断 (Diag) を実行している。 PCI モジュール#2 に AC 電源が供給されていない。	OS が起動するまでは、そのままお待ちください。OS の起動後、ステータスランプの状態を確認し、該当する対処方法に従ってください。 それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。

(4) PCI モジュール#2 のみステータスランプ1(◀<sup>1</sup>)が赤色に点灯している時。

PCI#1		PCI#2		意味	対処方法
◀ <sup>2</sup>	☐	◀ <sup>2</sup>	☐		
アンバー	アンバー	消灯	消灯	PCI#2 がスタンバイ状態。(PCI#2 の電源が ON になっていない)。 PCI#1 が simplex モードで動作中。	PCI#2 を ft サーバユーティリティで起動して下さい(5-63 ページ参照)。 PCI モジュール#2 を取り付け直してください。 それでも PCI#2 が正常に起動しない場合は保守サービス会社に連絡してください。
アンバー	アンバー	緑	消灯	PCI モジュール#2 が診断 (Diag) を実行している。 PCI#1 が simplex モードで動作中。	PCI#2 が起動するまでお待ち下さい。PCI#2 が起動し、二重化が完了すると正常な表示に戻ります。
消灯	消灯	消灯	消灯	PCI#2 のみスタンバイ状態。(電源コードが接続され AC 電源が供給されているが、装置の電源が ON になっていない)。 PCI#1 に AC 電源が供給されていない。	電源コードの接続状態を確認してください。 ブレーカや UPS の状態を確認してください。 電源ユニットの接続状態を確認してください。 PCI モジュール#1 を取り付け直してください。 それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
消灯	消灯	緑	消灯	PCI モジュール#2 が診断 (Diag) を実行している。 PCI モジュール#1 に AC 電源が供給されていない。	OS が起動するまでは、そのままお待ちください。OS の起動後、ステータスランプの状態を確認し、該当する対処方法に従ってください。 それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。

別紙2: P2-18

## CPU モジュールステータスランプ 1/2(◀1/▶2)

CPU モジュールには、モジュールの状態を知らせるランプが 2 種類あります。

2 つのランプの表示の組合せで CPU モジュールの状態を示します。

各ランプの位置については 2-6 ページを参照してください。

CPU#1		CPU#2		意味	対処方法
◀1	▶2	◀1	▶2		
消灯	緑	消灯	緑	CPU モジュールが二重化された状態で正常に動作しています。	—
消灯	アンバー	赤	消灯	CPU モジュール#2 がスタンバイ状態。(CPU#2 の電源が ON になっていない)。CPU モジュール#1 が simplex モードで動作中。	CPU#2 を ft サーバユーティリティで起動して下さい(5-63 ページ参照)。CPU モジュール#2 を取り付け直してください。それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
赤	消灯	消灯	アンバー	CPU モジュール#1 がスタンバイ状態。(CPU#1 の電源が ON になっていない)。CPU モジュール#2 が simplex モードで動作中。	CPU#1 を ft サーバユーティリティで起動して下さい(5-63 ページ参照)。CPU モジュール#1 を取り付け直してください。それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
消灯	アンバー	赤	緑	CPU モジュール#2 が診断 (Diag) を実行している。CPU#1 が simplex モードで動作中。	CPU#2 が起動するまでお待ち下さい。CPU#2 が起動し、二重化が完了すると正常な表示に戻ります。
赤	緑	消灯	アンバー	CPU モジュール#1 が診断 (Diag) を実行している。CPU#2 が simplex モードで動作中。	CPU#1 が起動するまでお待ち下さい。CPU#1 が起動し、二重化が完了すると正常な表示に戻ります。
消灯	消灯	消灯	アンバー	CPU モジュール#1 へ AC 電源が供給されていない。CPU モジュール#2 が simplex モードで動作中。	電源コードの接続状態を確認してください。ブレーカや UPS の状態を確認してください。電源ユニットの接続状態を確認してください。CPU モジュール#1 を取り付け直してください。それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
消灯	アンバー	消灯	消灯	CPU モジュール#2 へ AC 電源が供給されていない。CPU モジュール#1 が simplex モードで動作中。	電源コードの接続状態を確認してください。ブレーカや UPS の状態を確認してください。電源ユニットの接続状態を確認してください。CPU モジュール#2 を取り付け直してください。それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
消灯	消灯	赤	緑	CPU モジュール#1 へ AC 電源が供給されていない。CPU モジュール#2 が診断 (Diag) を実行している。	OS が起動するまでは、そのままお待ちください。OS の起動後、ステータスランプの状態を確認し、該当する対処方法に従ってください。
赤	緑	消灯	消灯	CPU モジュール#2 へ AC 電源が供給されていない。CPU モジュール#1 が診断 (Diag) を実行している。	それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
赤	消灯	赤	消灯	スタンバイ状態。(電源コードが接続され AC 電源が供給されているが、装置の電源が ON になっていない)。	装置の電源 ON 後から OS が起動するまでは、そのままお待ちください。OS が起動し、二重化が完了すると正常な表示に戻ります。表示が戻らない場合は、ステータスランプの表示を確認し、該当する対処方法に従ってください。
赤	緑	赤	消灯	CPU モジュール#1 が診断 (Diag) を実行している。	それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
赤	消灯	赤	緑	CPU モジュール#2 が診断 (Diag) を実行している。	それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
赤	アンバー	消灯	アンバー	CPU モジュール#1 のメモリダンプ中。	—
赤	アンバー	消灯	消灯	(保守作業時以外はこの状態になりません)	—
消灯	アンバー	赤	アンバー	CPU モジュール#2 のメモリダンプ中。	—
消灯	消灯	赤	アンバー	(保守作業時以外はこの状態になりません)	—

## ヒント

ステータスランプ1消灯時のステータスランプ2の色は以下を示しています。モジュールの取り外しを行う場合は特にご注意下さい。

— 緑 : そのモジュールを取り外しても、システムの動作に影響がない。

— アンバー : そのモジュールを取り外したら、システムダウンする。

別紙3: P2-18

## 拡張PCIモジュールステータスランプ 1/2(◀1/▶2)

拡張PCIモジュールには、モジュールの状態を知らせるランプが2種類あります。

2つのランプの表示の組合せで拡張PCIモジュールの状態を示します。

各ランプの位置については2-6ページを参照してください。

拡張 PCI#1		拡張 PCI#2		意味	対処方法
◀1	▶2	◀1	▶2		
消灯	緑	消灯	緑	拡張 PCI モジュールが二重化された状態で正常に動作しています。	—
消灯	アンバー 又は緑 ※2	赤	消灯	拡張 PCI モジュール#2 がスタンバイ状態。(拡張 PCI モジュール#2 の電源が ON になっていない)。拡張 PCI モジュール#1 が simplex モードで動作中。	拡張 PCI モジュール#2 を ft サーバユーティリティで起動して下さい(5-63 ページ参照)。拡張 PCI モジュール#2 を取り付け直してください。それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
赤	消灯	消灯	アンバー 又は緑 ※3	拡張 PCI モジュール#1 がスタンバイ状態。(拡張 PCI モジュール#1 の電源が ON になっていない)。拡張 PCI モジュール#2 が simplex モードで動作中。	拡張 PCI モジュール#1 を ft サーバユーティリティで起動して下さい(5-63 ページ参照)。拡張 PCI モジュール#1 を取り付け直してください。それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
消灯	アンバー 又は緑 ※2	赤	緑 ※1	拡張 PCI モジュール#2 が診断 (Diag) を実行している。拡張 PCI モジュール#1 が simplex モードで動作中。	拡張 PCI モジュール#2 が起動するまでお待ち下さい。拡張 PCI モジュール#2 が起動し、二重化が完了すると正常な表示に戻ります。
赤	緑 ※1	消灯	アンバー 又は緑 ※3	拡張 PCI モジュール#1 が診断 (Diag) を実行している。拡張 PCI モジュール#2 が simplex モードで動作中。	拡張 PCI モジュール#1 が起動するまでお待ち下さい。拡張 PCI モジュール#1 が起動し、二重化が完了すると正常な表示に戻ります。
消灯	消灯	消灯	アンバー 又は緑 ※3	拡張 PCI モジュール#1 へ AC 電源が供給されていない。拡張 PCI モジュール#2 が simplex モードで動作中。	電源コードの接続状態を確認してください。ブレーカや UPS の状態を確認してください。電源ユニットの接続状態を確認してください。拡張 PCI モジュール#1 を取り付け直してください。それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
消灯	アンバー 又は緑 ※2	消灯	消灯	拡張 PCI モジュール#2 へ AC 電源が供給されていない。拡張 PCI モジュール#1 が simplex モードで動作中。	電源コードの接続状態を確認してください。ブレーカや UPS の状態を確認してください。電源ユニットの接続状態を確認してください。拡張 PCI モジュール#2 を取り付け直してください。それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
消灯	消灯	赤	緑 ※1	拡張 PCI モジュール#1 へ AC 電源が供給されていない。拡張 PCI モジュール#2 が診断 (Diag) を実行している。	OS が起動するまでは、そのままお待ちください。OS の起動後、ステータスランプの状態を確認し、該当する対処方法に従ってください。それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
赤	緑 ※1	消灯	消灯	拡張 PCI モジュール#2 へ AC 電源が供給されていない。拡張 PCI モジュール#1 が診断 (Diag) を実行している。	
赤	消灯	赤	消灯	スタンバイ状態。(電源コードが接続され AC 電源が供給されているが、装置の電源が ON になっていない)。	装置の電源 ON 後から OS が起動するまでは、そのままお待ちください。OS が起動し、二重化が完了すると正常な表示に戻ります。表示が戻らない場合は、ステータスランプの表示を確認し、該当する対処方法に従ってください。
赤	緑 ※1	赤	緑 ※1	拡張 PCI モジュール#1/#2 が診断 (Diag) を実行している。	それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。

※1: 拡張 PCI モジュールの診断中、一時的にステータスランプ 2 が緑色から消灯になりますが、故障ではありませんのでそのままお待ち下さい。

※2: 拡張 PCI モジュール#1 の電源は ON になっているが、PCI スロットにオプションカードが何も取り付けられていないか、又は搭載されているオプションカードを機能させていない状態の時は、拡張 PCI モジュール#1 のステータスランプ 2 は緑色に点灯します。

※3: 拡張 PCI モジュール#2 の電源は ON になっているが、PCI スロットにオプションカードが何も取り付けられていないか、又は搭載されているオプションカードを機能させていない状態の時は、拡張 PCI モジュール#2 のステータスランプ 2 は緑色に点灯します。

## ヒント

ステータスランプ1消灯時のステータスランプ2の色は以下を示しています。モジュールの取り外しを行う場合は特にご注意ください。

— 緑 : そのモジュールを取り外しても、システムの動作に影響がない。

— アンバー : そのモジュールを取り外したら、システムダウンする。



\*856-123680-001- CQ\*